

みずほCustomer Desk Report 2019/04/08号(As of 2019/04/05)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	111.82
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	111.65	1.1223	125.32	1.3080	0.7109
SYD-NY High	111.82	1.1248	125.51	1.3122	0.7132
SYD-NY Low	111.55	1.1210	125.24	1.2987	0.7093
NY 5:00 PM	111.72	1.1218	125.29	1.3035	0.7106
NY DOW	26,424.99	40.36	日本2年債	-0.1600	0.00bp
NASDAQ	7,938.69	46.91	日本10年債	-0.0300	1.00bp
S&P	2,892.74	13.35	米国2年債	2.3424	0.44bp
日経平均	21,807.50	82.55	米国5年債	2.3079	▲0.98bp
TOPIX	1,625.75	5.70	米国10年債	2.4980	▲1.35bp
ソコ日経先物	21,875	80	独10年債	0.0055	1.45bp
ロンドンFT	7,446.87	44.93	英10年債	1.1150	3.20bp
DAX	12,009.75	21.74	豪10年債	1.8985	1.00bp
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	4.85	▲0.33%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	5.55	▲0.19%
NY金	1,295.60	1.30	USDJPY 6M Vol	6.14	▲0.19%
WTI	63.08	0.98	USDJPY 1M 25RR	-0.99	Yen Call Over
CRB指数	187.68	0.64	EURJPY 3M Vol	6.62	▲0.43%
ドルインデックス	97.40	0.09	EURJPY 6M Vol	7.08	▲0.46%

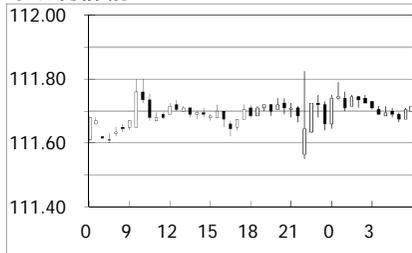
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月5日	14:00	日 景気一致指数・速報	2月 98.8	98.9
	15:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	2月 0.7%	0.5%
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	3月 196k	177k
	21:30	米 失業率	3月 3.8%	3.8%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	3月 0.1%/3.2%	0.3%/3.4%
4月6日	04:30	米 ボスティック・アトランタ連銀総裁 講演	「全体として労働市場は力強い」	

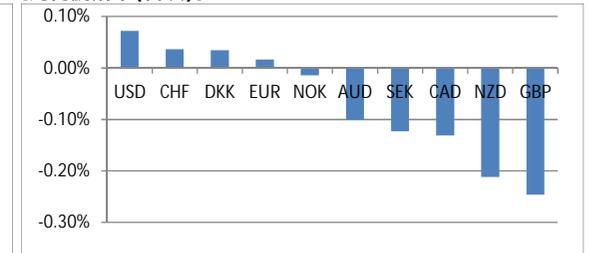
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月8日	09:30	日 黒田日銀総裁 講演	-	-
	23:00	米 製造業受注(前月比)	2月 -0.5%	0.1%
	23:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	2月 -1.6%	-1.6%
	23:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・確報	2月 0.1%	0.1%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.20-112.10	1.1160-1.1260	124.50-125.70

【マーケットインプレッション】

先週金曜日のドル円は111.70付近で取引を開始。注目の米3月雇用統計では平均時給が予想対比悪化する一方で非農業部門雇用者数変化が予想を上回る等、強弱入り混じる結果が示されたことでドル円はレンジを変化させることなく、111.70付近での推移となった。本日のドル円は111円台後半での動意に欠ける展開を予想する。米3月雇用統計は上述の通り強弱入り混じる結果となったことで今後の相場の方向性を決めるドライバーにはならぬだろう。本日は特段重要な経済指標の発表が予定されていないことから、先週金曜日と同水準での取引に終始すると見られる。

東京	東京時間のドル円は111.65レベルでオープン。習金平国家主席が対米通商協議に関する文書の早期合意を求めたと報じられたことに加え、五・十日の実需勢のドル買い回一等を背景にドル円は一時111.80まで上昇。しかし、3週間ぶりの高水準まで上昇したこと等から仲値通過後にドル円は伸び悩み、111.70近辺での狭いレンジ内での推移が継続。結局、111.70レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、111.70円でオープン。米雇用統計を控え、111.62円-111.74円の狭いレンジで小動き。111.71レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3112レベルでオープン。朝方はトラスEU大統領が英国へ、最大1年間の柔軟な離脱延期を提案するとの報道で買われて始まるも、その後はメイ首相がトラスEU大統領宛の書簡で、6月末までの延期を申請したと伝わると、下値を探る展開に。今週半ば以降、メイ首相が、労働党やSNP側へ歩み寄る姿勢を見せ、ソフトレグジット期待が高まっていただけに、来週10日の臨時EUサミットまでの進展は見込めないとの観測が広がる中、売りが優勢となり、1.3055まで下落。1.3067レベルでNYに渡った。(ロンドン・ブルワ 00531 444 179 北原)
ニューヨーク	ドル円は111.71レベルでNYオープン。朝方は注目の米3月雇用統計が発表され、平均時給が予想を下回る緩やかな伸びで、ドル円は111.55まで下落するが、非農業部門雇用者数変化が予想を上回り、前回分も上方修正されたことから111.82まで上昇する。その後は戻り売りに111.63まで下押しする。トランプ大統領が「Fedは利下げして、バランスシート縮小をやめるべき」との発言をしたものの、ドル円の反応は限定的。その後はドル買いが優勢となり、ドル円は111.79まで戻す。午後は、終盤に掛けては週末を控え狭いレンジでの推移が続き、111.72レベルでクローズした。一方、ユーロドルは1.1225レベルでNYオープン。朝方は、米3月雇用統計の結果を受け、一旦ドル売りが優勢となったことから1.1248まで上昇するが、その後はドル買いがすぐに持ち込まれ、1.1217まで反落する。その後再びユーロが買い戻される局面もあったものの、正午前になり再度ドル買いが持ち込まれたことから1.1210まで下落する。正午過ぎになり、英労働党の話として「政府はブレグジット妥協案をまだ提示していない」とのヘッドラインが伝わり、ポンドドルが本日の安値を付けるが、ユーロドルの反応は限定的となる。午後は狭いレンジでの推移が続き、1.1218レベルでクローズした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 田家・森谷